

第4回 北上川上流洪水減災対策協議会の開催

1. 概要

○「第4回北上川上流洪水減災対策協議会」を開催し、緊急行動計画や岩手県の取組を取り入れた「北上川上流の減災に係る取組方針」の見直しを行うとともに、各機関との意見交換を行った。

2. 日時／実施状況

- 日時：平成29年12月27日(水) 10:00～11:30
- 場所：岩手河川国道事務所 2階 大会議室
- 出席者：関係機関 約60名が参加

花巻市、北上市、雫石町、岩手町、紫波町、平泉町の長
盛岡市、遠野市、一関市、八幡平市、奥州市、滝沢市、矢巾町、西和賀町、
金ケ崎町の防災担当
盛岡地方気象台、岩手県、岩手河川国道事務所、
北上川ダム統合管理事務所

議事内容

- 1)「水防災意識社会」の再構築に向けた緊急行動計画について
- 2)岩手県の取組について
 - (1)水位周知河川指定5ヶ年計画等について
 - (2)危機管理型水位計について
 - (3)要配慮者利用施設の避難確保計画作成について
 - (4)河道掘削、立ち木伐採について
 - (5)タイムラインの作成について
 - (6)ホットラインの運用状況について
- 3)「北上川上流の減災に係る取組方針」の見直しについて
- 4)意見交換
- 5)その他



<開催状況>

3. 主な意見等

■安全な避難行動のための取組について

- ・今年の8月の大雨の時、岩手河川国道事務所あるいは盛岡地方気象台から、非常にタイムリーな情報をホットラインでいただき、すぐ避難勧告を出すということに結びついた。
- ・避難勧告を発令する立場として、水位情報は大変重要な判断材料なので、水位周知河川の早期整備、運用開始をお願いしたい。
- ・地域住民が助け合いながら避難する共助の体制づくりに取り組んでいる。避難に手助けが必要な要支援者の位置や避難ルートを記したマップを作成し、有事の際に誰が助けに行くのかを決めて災害に備えていきたい。
- ・ホットラインによるきめ細かな情報の他にニーズに適した情報を流してもらえると大変助かる。

■地域防災力を維持・継続・強化するための取組について

- ・地域の意識啓発や訓練を牽引するリーダーが必要なので、自主防災組織の研修会を充実、強化するなどして、地域の防災リーダー育成に取り組んでいきたい。
- ・職員が代わっても取組方針が継承されることで、安全意識の高揚に結びつけていきたい。

■人命と財産を守るための取組について

- ・特別養護老人ホームの避難訓練の実施により、なかなか避難が難しいというのがわかったところ。今後その対応について、さらに検討していきたい。



花巻市



北上市



雫石町



紫波町



岩手町



平泉町